

静と動の世界へいざなう

富田林居合会



私たち富田林居合会は、居合道を楽しみながら健康な心と体を養い、後世に古武道の一つ居合道の業(無双直伝英信流)を伝承する目的で、2015年5月に結成され、今年の5月で7年目を迎えます。

居合道の流派は多岐に渡っていますが、304年ほど前(享保元年1717年)に、正流第七代長谷川主税助英信が古伝の業に独創の業を加えました。その「無双直伝英信流」の居合の業を受け継ぎ現在に至っています。

居合道の始まり

室町時代の末期、戦国時代になると、太刀はほとんど廃れてしまい、打刀と脇差の二本を帯刀するのが武士の日常の姿となりました。その打刀による抜き打ちを武道として完成させたのが、1542年(天分1年)出羽の国楯山山崎村(現在の山形県村山市)で生まれた、林崎勘助源重信です。武術に精進し、厳しい稽古を積み、居合の極意を得、1561年京都で父浅野数馬の敵討ちを果たします。その後も諸国修行の旅を続け多くの弟子を育てました。それが、居合道の始まりと云われています。林崎勘助源重信は、山形県村山市の林崎神社に居合の流祖として祀られています。



無双直伝英信流

流祖以来、代々その伝統を継ぎ幾多の分流と名手を輩出してきましたが、第七代宗家の長谷川主税助英信が古伝の技に独創を加え時代に合った改善を行い、故郷の土佐に帰ってこれを伝えました。この新しい流派を無双直伝英信流、長谷川英信流と呼ぶようになりました。明治時代の廃刀令、第二次大戦の敗戦の日本刀没収と多難な時代を乗り越えてきました。

静と動の世界にいざなう

居合道の稽古や演武では、静寂の中、凜とした気魄を込め、刀の一振り一振りに気力を込めます。そして、観る人々を静と動の世界に誘(いざな)います。外国の方との交流会や寺社の奉納演武やイベントなどで、日本文化の伝統の一つ「古武道としての居合道」のそんな世界(演武)を皆様にお見せすることが出来ます。ぜひ多くの方たちに古武道の世界を実感して頂きたいと思えます。



稽古日・場所・時間

- ◇土曜日中央公民館ホール 13:00~17:00
 - ◇第1水曜日:ロゼサロン 第2~5水曜日:総合体育館
 - ◇日曜日(月一回)総合体育館 (水曜日、日曜日は時間が異なることもあります)
- 連絡先 090-5369-8574 富田林居合会 鶴田(つるた)

居合道見学会のお知らせ

日時: 2021年3月6日(土) 13:00~16:30
 場所: 富田林市立中央公民館2Fホール
 申し込みは中央公民館へ ☎ 0721-24-3333